

海上の森自然観察会

テーマ 森の中で昆虫を探そう

日時 2014年7月19日(土)10:00～15:00(雨後曇り一時晴)

参加者 一般:1名(子ども0) 指導員:8名

朝から雲行きが怪しかったのですが、集合場所の海上の森駐車場に着いた10時前から雨が降り始めました。そのうち雨が激しくなり、加えて稲妻が走り、雷鳴も近く、落雷の危険が感じられたため、出発をしばらく見合わせました。待つことしばし、雷が遠ざかり、雨も小降りになったので、20分遅れで歩き始めました。

この日のテーマは昆虫でしたが、雨のためチョウやトンボが飛んでいません。先月、幼虫がたくさん見られたマイマイガは、岐阜県の高山市辺りでは樹木の葉が丸坊主になるほどの異常発生で問題になっていますが、ここでは成虫が発生するピーク時期を既に過ぎたようで、この日は時折、道を横切って飛ぶ成虫の姿が見られた程度です。

キハギやリョウブ、アキノタムラソウ、ダイコンソウなど道端に咲く花を見ながら森の中を進みました。途中でヌマトラノオとオオトラノオの間期的な特徴を持った花が咲いていました。両種の雑種とされるイヌヌマトラノオでしょうか。森の中ではヤブレガサの花がひっそりと咲いていました。この草の茎に大きな虫コブがついていました。家に帰って調べたところ、「ヤブレガサクキフクレズイフシ」と呼ばれ、「タケウチケブカミバエ」というハエの仲間が作るものだそうです。

ところで、今年はエゴノキの実の付きが悪く、例年たくさんぶら下がっている実がわずかしか見られません。ここだけでなく、モニタリングサイト1000里地調査で回った犬山市の善師野でも同様に実の付きが悪い状態です。

森の中の道路脇の崖にオオルリの巣がありました。前年からあった古い巣を改修して使ったようですが、産卵したものの雛はうまく巣立ちできなかったそうです。

昼近くになって、雨があがりました。海上の里に作られた溜池ではシヨウジョウトンボ、オオシオカラトンボ、シオカラトンボ、チョウトンボがいましたが、シヨウジョウトンボの数の多さにびっくりしました。

池の近くではタンザワウマノスズクサの実が3個見つかりました。花は毎年見られますが、実が見られることは稀です。

海上の里のサテライトで昼食をとった後、瀬戸大正池に向かいました。ウグイスが近くで囀っているところを見ていた時、池の対岸で運良くサンコウチョウの声が聞かれました。

気象レーダーによると、15:00頃に次の雨雲がかかるということで、ツチアケビの実を見て、急ぎ足で駐車場に戻り、アメリカネナシカズラを見て解散しました。車に乗ったらすぐに雨がポツポツと降り始め、天気予報の正確さに驚かされました。梅雨末期のこの時期としてはラッキーな観察会となりました。(報告:齋竹善行)

<その他観察できた昆虫> アオバハゴロモ、ニイニイゼミ(声)、クモヘリカメムシ、ナガメ、ダイミョウセセリ、ヒメウラナミジヤノメ、キタキチョウ、ウラギンシジミ、モンシロチョウ、コムシジ、ルリシジミ、オオスカシバ、キイトンボ、ハラビロトンボ、コシアキトンボ、ギンヤンマ、ウスバキトンボ、ホソミイトトンボ、ナナフシモドキ、マメコガネ



(マイマイガ成虫)



(ヤブレガサクキフクレズイフシ)



(タンザワウマノスズクサの実)



(観察会のようす)